

OSAKA

りかなん

議会だより

「ウイテマテ」 懸命に練習したよ!

～水の事故から身を守る～

着衣水泳（白木小学校）

第2回定例会

平成26年度予算審議など P2～10

これが聞きたりねん 議員の質問 P11～18

シリーズ人 松本 優夏さん P20

2014.9 No.124

発行責任者／河南町議会 議長 浅岡 幸晴



“消防” 富田林市 へ委託！

平成26年度 町長所信表明要旨

平成26年第2回定例会は、6月4日から6月27日までの会期で開催しました。
平成26年度の各会計補正予算は、予算特別委員会を設置し慎重に審査を行い、原案のとおり可決しました。そのほか、条例の一部改正などが提出され、それぞれ審議が行われました。
一般質問では、8人の議員が町政全般について活発な議論を行いました。

このたび、私は、本年3月に住民の皆様から一方ならぬご支援とご支持を賜り、無投票当選の栄に浴し、引き続き3期目の町政を担うこととなりました。

こよなく愛する、ふるさと河南町の未来を担っていく、その責任の重大さに、改めて身の引き締まる思いであります。決意を新たに、なお一層、全身全霊をもってまちづくりに励んでまいりる所存であります。

私は、「生き残り」をかけた河南町100年マニフェスト」と題した住民の皆様へのお約束の中で、河南ノミクス「七本の矢」のまちづくりを掲げました。

第1の矢は、河南町の安全・安心、第2の矢は、河南町の教育・子育て、第3の矢は、超高齢社会の河南町モデル、第4の矢は、河南町の成長戦略、第5の矢は、美しい河南町、第6の矢は、モット開かれた河南町、第7の矢は、河南町の健全な財政であります。

100年マニフェストということ、必ずしもこの4年間で完結できることばかりではなく、将来を見据えて、この4年間で検討や準備を進めていこうというものもございます。今後、河南ノミクス「七本の矢」の具現化を行うに当たっては、本町のまちづくりの指針であります河南町第四次総合計画との整合性を図りながら、安全・安心の実現、教育・子育て環境の充実、超高齢社会への対応、美しい河南町の実現など、なお一層の住民福祉の向上を目指して誠心誠意取り組んでまいります。議員の皆様におかれましても、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私には、これから河南町が生き残っていく上で、住民の皆様との協働が重要なキーワードであると考えております。地方分権が進む中、住民自治の理念に基づき、住民自らが地域の実情に沿った個性豊かなまちづくりを展開することが期待されております。活力ある地域社会を形成し、きめ細かな安全の根を地域に張りめぐらせ、美しい住み続けやすいまちづくりを推進するうえで、住民の皆さんとの協働は不可欠であります。

このように、協働のまちづくりを一層推進していくため、協働の基本的な理念やそれぞれの役割などを定めた「かなまちづくり基本条例」を制定し、この4月に施行いたしました。

さらに、3市2町1村では、事務処理の効率性や専門性の確保、サービ

充実の観点などから、広域連携、広域行政も選択肢の一つとして推進してまいります。

協働や広域連携の推進も大切ではありますが、行政内部においても職員倫理の向上や職員の資質向上、機能的な組織運営などを通じて、質の高い行政運営を推進してまいります。

また、今後も財政規律を維持していくため、引き続き、徴収率の向上はもとより、ふるさと納税制度の積極的な活用など、さまざまな手法で歳入の確保に努めるとともに、民間活力の活用などによる、さらなる行政運営の効率化も必要となります。今後、本町において、このような視点から行政運営を推進するための指針を策定し、先を見据えた選択と集中の観点による町政運営に邁進してまいります。



予算特別委員会

町長の所信に対する 質問

問 小学校統合に関する平成19年に出された答申は、現在の社会情勢にも対応しているのか。

答 答申は10年計画であり、平成29年を目標として事業を進めている。現在の児童数、減少具合からみると決して時代遅れでない。

問 小中一貫教育は。

答 一貫教育も意識しつつ、答申を重視していく。

問 保育園の第三子以降無償化の拡充は。

答 人口減に対応するために、予算をみながら検討する。

問 認定こども園設置のめどは。

答 小学校の第2期統合を完了した後、保育園／幼稚園の統合事業を進めていく。

問 大宝地区でのゾーン30の実施状況は。守らな

考えているか。

答 ゾーン30への住民の理解を深める。また法定速度遵守契約という制度を考えている。

問 1月17日に職員の参集訓練が行われた。参集率は。

答 ほぼ全員参集した。

問 女性の管理職登用、各種協議会／審議会の委員における女性の比率をあげるための策は。

答 女性の登用など取り組んでいくが、10年から20年後に結果がでる。

問 歩く文化の定着を目指すなら、町長自身が歩いて通勤してはどうか。

答 首長が交通事故に遭うと町政が滞るといいうリスクがある。注意をしながら挑戦したい。

問 100歳体操はテレビで放送している体操等で代用できないのか。

答 河南町の高齢者が元気になることを目指している。

問 今まではどうしてきたのか。

答 人事評価の制度内で4年前から導入している。

問 河南町役場庁舎はESCO事業に最適な建物なのか。

答 民間の資金・能力を活用したESCO事業に取り組むことで、財政支出が平準化され、エネルギー削減などの管理もしてもらえる。

問 男女共同参画について、女性問題だけをとりあげているが、男性／セクシャルマイノリティの問題は。

答 検討していく。

問 グラウンドゴルフ場の利用促進として、高齢者向けの施策を展開しているが、子育て世帯へもアピールしては。

答 子育て世帯へのアピールを取り計らっていく。

問 学校給食について、アレルギーのみならず、多種多様な宗教環境や文化を背景に持つ生徒が増えているが、対応は。

答 保護者と協議し、検



問 部長マニフェストはどのように運営していくのか。

答 首長のマニフェストに沿った行政サービスを實現するために、推進する方法を提言するのが部長マニフェストである。

問 職員には人事異動がある。1年で完結するマニフェストか。

答 部長マニフェストは所属課・係・担当者の目標とリンクしたものである。

問 今まではどうしてきたのか。

討する。

問 河内地区のハザードマップ作成が出ているが、他地区は。

答 順番に作成していく。

問 農村活性化センターの太陽光発電の容量は。

答 5・52kwのパネル、4・65kwの蓄電池を設置する。

問 行政の広域化、広域連携が進んでいるが、富田林に一極集中しないような配慮は。

答 町益に鑑みて判断する。

問 消防広域化について、一部事務組合・広域連合消防組合という選択肢もあったが、なぜ委託なのか。

答 今の河南町の状況を考えた上で、最善の選択である。

問 一部事務組合を選択した場合、費用はどのように推測しているのか。

答 折衝していないが、最大折半という可能性がある。

問 一度、消防本部許可権を手放すと、再度必要となった時に取れなくなるのでは。

答 再度取るのは難しい。

問 お互いに委託し合い、委託費を頂くという方法もあったのでは。

答 方法は沢山あるが、町益を鑑みて選択した。

問 広域消防組合設立協議の設置に向けて力を注がなかったのはなぜか。

答 現在、3市2町1村の広域消防組合設立協議は休止している。

職員定数条例の一部を改正する条例の制定について

問 現在の消防職員24名の採用の話は富田林市にしたのか。

答 現在の消防職員のうち23人が富田林市の職員として採用となる予定。

問 河南分署に増員を依頼すると人件費は河南町の負担になるのか。

答 分署に配置する人数を増員すると、その分は町で負担する。

河南町防災会議条例の一部を改正する等の条例の制定について

問 新たに富田林市消防手数料徴収条例が適用されるのか。

答 富田林市と河南町では手数料は同様となっている。

河南町・富田林市消防事務の委託に関する協議について

問 「委託事務の管理及び執行に伴う手数料その他の収入は、乙の収入とする」は、具体的にどういう類いの収入か。

答 罹災証明や危険物の届け出などの手数料。

問 消火栓等は、消防法の規定に基づき満足の数はあるのか。

答 今360基ある。

問 他市町村の分署等を新しく建て替えるのに、分担せよと言われたときの負担金は。

答 各市町村の財産として持っている建物、車両については、全て各市町村が個々に整備するとなっている。

平成26年度河南町一般会計補正予算(第2号)について

問 ESCO事業導入支援業務委託料について、具体的には。

答 業者の選定業務の補助や、委員会の運営補助等。

問 地域公共交通の法定会議の設立、運営は、どのような計画で進んでいくのか。

答 まず検討会議が素案をまとめて、町に提案してもらおう。町はそれをもとに運行計画とかバスのルート設定、料金などや運行計画案等を作成する。その結果まとめれば、法定の交通会議に諮って、審議をいただくという形になる。

問 運行計画等作成委託料の内容とは。

答 地域公共交通の委託は、実証運行に向けての運行計画やその他詳細な運行ルートの設定及び検討会議で取りまとめている素案をベースに、再度詳細な計画を考えていく。

問 地域公共交通調査料の内容及び意味か。

答 NPO法人とのパートナーシップ事業として、地域公共交通の取り組みを推進していく負担金を推定している。

問 消防費の被服費で、ネームの書き換え、新しく作るということだが、使えるものは使うのか。

答 消防の被服費は、消防の活動服、救急服、現場外套がある。富田林市消防本部に背中のネーム部分だけ変える。



河南町消防本部



問 防犯カメラ設置は32台分ということだが、箇所は、何カ所になるのか。

答 1地区で4台までとなっている。

問 8カ所ということでは計算していいの。

答 32台ですので、1地区4台最大の申請があれば8カ所という形になる。

問 税等をコンビニで払い込めるようになると、徴収率アップとなるのか。

答 納税者の利便性の向上が第一。全国でコンビニが5万店以上あり、24時間365日対応できる。また、間接的には、納税場所が増えることにより、徴収率アップにつながるかと考えている。

問 交通安全施設の点検は、どのような内容を点検するのか。

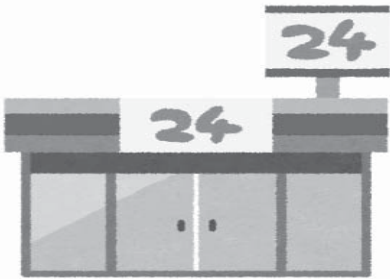
答 位置の確認、周辺の地形、自然条件、交通状況等、環境面をまず台帳に落とす。それから目視触診、打音検査等を行い緊急対応も含める。

問 地方消費者行政活性化交付金は、その目的と効果は。

答 消費生活に係る消費者教育啓発の実施など、消費者行政活性化の取り組みを支援するための交付金

問 観光PRサイン設置工事をする意味、その目的と効果は。

答 河南町自然と歴史の散歩道、南河内地域広域行政推進協議会が設置した河内ふるさとのみちのルートサインが、これまでは河南町の主な観光サイン。絶対的に数が少ないため、本町の幹線道路



コンビニエンスストア

からの推奨ルートを設定し、町内の方はもとより、町外の方がまた快適に町内を回遊できるように、今回計画を立て、それを年次的に整備する。

問 再生可能エネルギー等導入推進基金事業補助金のペレットストーブ以外に何か選択肢を考えていなかったのか。

答 近年、環境に関する関心が高まり、これをテーマにした事業を進めることで、環境に対する意識を高めるため、再生可能エネルギー等を活用したペレットストーブを採用した。大阪の森林の廃材の再利用ということも考慮し、さらに、安全性も考え、ペレットストーブにした。

国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

問 コンビニ収納代行の件数と対応する店舗は。

答 3,600件を想定し、全国の主要コンビニ



ペレットストーブ

ぐらいか。
答 口座振替で1,217件約50%の率になっている。

問 代行業務の選定は。入札で決めていく。

問 管更生の事業は随意契約でやっているのか。
答 法律で協定を結んでおり平成29年度までは随意契約で行う。

問 支障物件移転補償費の7,800万円の内訳は。
答 中地区及び一須賀地区の一部で行う下水道整備に伴う水道移設補償である。

問 雨水工事費4,000万円の内容は。
答 大宝2丁目φ1,200mm管布設L≒38mm1,100万円。
大宝3丁目φ700mm管布設100m、1,868万円。

水道事業会計補正予算(第1号)

問 青崩地区への上水化は。計画はない。

問 第4次水道事業計画の見通しは。
答 今年度、将来の水予測を計画し水道ビジョンを立てるが、第4次拡張にはならない。

問 災害時の対応として井戸について、指定する取り組みは。
答 登録してもらったら保健所で飲み水として適合しているか検査する。

問 工事請負費8,100万円の内訳は。
答 さくら坂低区配水池の高圧受電設備とテレメーター設備の更新の費用。

(軽自動車税の)河南町税条例等の一部を改正する条例の制定について

《反対討論》

【力武議員】

長期にわたる所得低迷の中で、税金を含めた自動車の維持費の負担が重くなり、価格、維持費ともに比較的安価な軽自動車の需要が高く、公共交通不便地域では重要な移動手段となっている。

農業用車両に対する課税は、農業収入が低迷している中で農業従事者に対する負担増でもある。

国策として進められようとしている増税に対して自動車取得税を減税・廃止して、その減収分を軽自動車税の増税で賄うことは、消費税増税に加えて二重の負担を強いるものだ。

【佐々木議員】

今回の条例改正は国会で決まった地方税の改正を根拠というが、町として緩和策を論じないまま増税を踏み切るのは、行政の怠慢である。

13年以上経過した車両を増税対象とするのは、自動車税のグリーン化が目的であり、これは環境配慮型増税だと聞かすが、13年以上経過した車両が通常利用で排出する温室効果ガスよりも、1台の車両を製造、廃車にする際に排出するそのほうが大きいことは明らか。

4月から消費税増税されたばかりである、適用が1年後、27年4月からだとしても、所有する方、対象の方にとっては負担が増大し過ぎる。

《賛成討論》

【田中議員】

地方税法で決まったこと。この間の8%の税率アップも我々は、これは反対しても逆立ちしてもできない問題。今回のこの自動車税も、軽自動車税も、決まったことはもう仕方ない。

【野村議員】

平成26年度の地方税制改正は、現下の経済情勢等を踏まえ、デフレ脱却、経済再生及び地域経済の活性化等のための税制上の措置を講ずるための観点から、4月1日から施行された。

地域間の税源の偏在性を是正し、財政力格差の縮小を図るため、法人住民税の法人税割の税率の引き下げ、普通自動車税と軽自動車税の負担の公平の観点から、軽自動車税の負担水準の適正化を図るための軽自動車税の改正、軽自動車においてもグリーン化を進める趣旨での重課税率の導入、また、耐震改修が行われた既存建築物について固定資産税の減額措置を講ずるなどの改正が行われたもの。

本町においても、上位法令である地方税法等の改正の趣旨に従い、本条例について所要の条例改正が提案されたものであり、適正なものである。

(消防職員に関する)職員定数条例の一部を改正する条例の制定について

《反対討論》

【福田議員】

職員定数条例の一部を改正する条例においては、河南町消防本部を富田林市へ委託をさせるための、現行の消防機関の職員の消防職員25名を条例から削除するための条例改正である。

現在の河南町消防本部は、約5年間の日時を費やし、平成12年度に町住民の有権者の同意を得て、町住民の生命と財産を守るため、小規模ながら河南町消防本部を設立した経緯を踏まえて、住民の声を尊重し、河南町消防署本部を富田林市への委託に関しての委託ありきでの吸収方式より、富田林市と河南町との広域常備消防方式の1市1町の対等方式での協議を行うため、現行条例での消防機関の職員の消防職員25名を条例から削除するための条例改正については同意できない。

《賛成討論》

【野村議員】

消防職員の25人を削除することは、富田林市との消防広域化に伴うもので、広域化による行財政上のスケールメリットを活用し、消防体制の充実、強化、住民サービスの一層の向上を図り、経費節減と迅速でかつ確かな意思決定を行い、さらに、より高度でかつ専門的な消防サービスを展開するものと認識をしている。

河南町の消防職員は、富田林市消防本部の消防吏員として採用され、富田林市への消防事務委託後は158人体制により、河南町の住民の生命、身体及び財産が守られることになる。

消防広域化後は、災害時に河南町、富田林市消防本部、河南町消防団などがより一層連携する仕組みを策定される。

(消防事務に関する)河南町防災会議条例の一部を改正する等の条例の制定について

《反対討論》

【福田議員】

私は、議案第 31 号と同様の理由により、議案第 38 号の河南町防災会議条例の一部を改正する等の条例の制定で、現行条例での消防職員及び消防長を条例から削除するための条例改正については、賛同をすることができない。

《賛成討論》

【小山議員】

消防広域化は、消防事務を富田林市に事務委託するものである。事務委託は指揮命令の一元化により災害時に迅速対応できることや、庶務機能が不要となることなどにより、経費が安価で済むことが見込まれる。

事務委託により、常備消防事務は富田林市の条例が適用されることから、常備消防関係の条例を一部改正また廃止されることになるが、国から示された準則条例は、事務委託後も変更はない。

平成 26 年度河南町一般会計補正予算（第 2 号）

《反対討論》

【福田議員】

平成 26 年度河南町一般会計補正予算(第 2 号)において、一般会計補正予算(第 2 号)の中に含んでいる富田林市に支払う町消防職員の退職手当相当額 2 億 398 万 5 千円及び河南町の負担と整備する費用として 1 億 9,426 万円の補正予算費の計上に反対する。

そして、富田林市側への委託後に、今後河南町へ元消防職員の退職手当相当額の負担費増や、河南町が河南町分署へ消防職員配置増を求めた場合や、救急車の 1 台配備の増車を求めた場合には、河南町には多額の負担費を富田林市側から請求される可能性が大いにある。また、現在の河南町消防本部では、高規格車 1 台と予備救急車を使って、住民の生命を守るために、救急業務に当たっていた。富田林市へ委託後には、河南町分署では高規格救急車が 1 台のみで、予備の救急車の配備がない。

今後の河南町住民の生命を守るための河南町への救急業務に対しては、大変危惧している。

《賛成討論》

【田中議員】

平成 26 年度の当初予算は、3 月の町長選挙の関係から、義務的経費を中心とした骨格予算として編成された。この 6 月補正予算をもって本格予算とされ、6 月補正後の予算額は前年度当初予算と比較すると 8.6% の増と、積極的な予算となっている。

これは、武田町長が住民に約束されたマニフェストに基づく新規事業や道路整備など、必要な公共事業を中心に編成されたものである。

特に、住民との約束を確実に実行しようとする取り組みは評価できるものである。中でも、住民の生活に直結する富田林市との消防広域化に伴う予算計上が、河南町の安全・安心がより一層充実させることを期待している。

このほかにも、地区が整備する防犯カメラに対する設置補助、中学校の教育環境の充実を図る空調設備の実施設計、元気で長生きしていただけるように 100 歳体操の考案、幹線道路の舗装の打ちかえや橋梁の長寿命化など、住民の生活に直結する予算が数多く計上されている。

河南町・富田林市 消防事務の委託に関する協議書調印式



富田消防長 武田町長 多田市長 後藤消防長



浅岡幸晴議長 山本議長

主な質疑

河南町・富田林市消防広域化(委託)に関する特別委員会の設置について

※質疑なし

専決第2号 平成25年度河南町一般会計補正予算(第5号)

※質疑なし

専決第3号 河南町税条例の一部を改正する条例の制定について

※質疑なし

河南町附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について

問 地域公共交通検討会議について、検討会議と交通会議の違いは。

答 現在設置の検討会議は、本町の公共交通のあり方について検討するもので、交通会議は、今後実証運行や有償運行を行うために、法律に基づい

た会議体として設けるものである。

問 交通会議の構成メンバーは。

答 法に則り、町・府・運輸局・交通事業者及び運転手の組織・道路管理者・警察・学識経験者・住民または利用者代表他、主宰者が必要とする者となっている。



河南町報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例の制定について

問 今回の2件も含め委員会報酬月額7,000円の根拠は。

答 特別な基準は設けておらず、近隣市町村と同等にしている。

河南町法定外公共物管理条例の一部を改正する条例の制定について

問 里道・水路の管理責任は。

答 管理は、これまで同様地元でお願いをする。ただし、それらの占用や施工承認の許可事務は町で行う。

河南町税条例等の一部を改正する条例の制定について

河南町老人医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

※質疑なし

河南町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

河南町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

河南町・富田林市一般旅券の申請受理及び交付等に関する事務の委託に関する協議について



推薦第1号 人権擁護委員候補者の推薦について

※質疑なし

報告第4号 平成25年度河南町一般会計繰越明許費繰越計算書について

※質疑なし

報告第5号 平成25年度河南町土地開発公社会計決算の報告について

※質疑なし

職員定数条例の一部を改正する条例

※予算特別委員会付託

防災会議条例の一部を改正する等の条例

※予算特別委員会付託

平成26年度河南町一般会計補正予算(第2号)

※予算特別委員会付託

平成26年度河南町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

※予算特別委員会付託

平成26年度河南町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

※予算特別委員会付託

平成26年度河南町水道事業会計補正予算(第1号)

※予算特別委員会付託

町長及び副町長の給料、手当及び旅費並びに服務に関する条例の一部を改正する条例

問 町長の給料月額84万円から13%カットされ78万8000円にされた根拠と20%減額されなかった理由は。

答 報酬審議会で慎重に審議してもらった。

問 それぞれの自治体の取り組み、町長の役割など単純に比較できない、根拠が納得しにくい。

答 類似団体や府内町村比較、検討をしてもらった。

問 審議会の中でどのような議論がされたのか分からない。

答 答申書と議事録はホームページに記載している。

問 町長選挙後2か月で審議会を開かれた政策的意図は、どういう視点で開かれたのか。

答 次の4年1期、仕事を請け負うことになるので、できる限り早く開いてもらった。

問 平成25年度の決算の速報値は1億9,750万円の黒字となっている。評価はいいと思うが。

答 税収、財政力指数は下がっている。経済は上向きではあるが、時期尚早という判断を審議会ですされたと思う。

**町立中学校屋内運動場
新築工事の工事請負変更契約**

問 照明器具の耐用年数は、落下防止策は。

答 耐用年数は20年で、

落下防止は屋根の主要構造部材に直接ボルトを締めてそれに加え別のチェーンを予備で落下防止を施している。

河南町議会委員会条例の一部を改正する条例について

問 提出者はなぜ趣旨説明されなかったのか。

答 同意してもらった議員と粛々と進めてきた。

ウィルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度と身体障害者手帳の認定基準緩和に関する意見書

※質疑なし

大阪・泉南アスベスト国家賠償請求訴訟の早期全面解決を求める意見書

※質疑なし



新 給 食 セ ン タ ー

第1回臨時会

河南町農村環境改善センター等改修工事の工事請負契約について

問 追加工事で工期が遅れたり、新たに予算を計上したりするが、この農村環境改善センター等の改修工事において、追加工事はあるのか。

答 新築工事ではなく、現時点では分からない。

問 追加工事がかなりの金額になった場合、別発注は考えられるのか。

答 別発注はしない。追加が出た場合、変更契約をお願いする。

問 工事の周知は

答 館内にチラシ等を掲示する。

問 かなんぴあのシャワー増設工事において、利用者には支障がないのか。

答 土間のはつり等で埃や騒音等を伴うため、休館日に工事するなど工夫する。

問 工事車両の駐車場の確保は。

答 利用者に迷惑をかけるような請負業者とコンナミスポーツと検討中。

問 工期はいつまで。

答 工期は12月24日。

問 農村環境改善センターの風呂工事以外はどんなものがあるのか。

答 既存の男女トイレを和式から洋式に取替え、休憩室を設置する。

問 農村環境改善センターに新たに2基のボイラーを設置せずに、かなんぴあのボイラーを利用する考えは。

答 風呂までの距離が長く、ロスが出るため別に設置する。

問 当初予算の7,800万円の積算根拠は。

答 基本設計に基づくものである。

問 財源は町債が全てであるが補助金はなかったのか。

答 該当する補助金なかった。

問 コナミとの契約が来年1月で切れるが、新しい風呂の運営や料金体系はどうするのか。

答 現在、設置条例の一部改正は行っておらず、風呂の名称、利用料等は12月定例会で審議いただく。

問 町単独での運営で利益を図ることはないのか。

答 風呂の規模からも利益を図ることは難しく、その考えはない。

問 工事の改修に伴い耐震関係は大丈夫か。

答 施設建物の当初設計図書等でコンサルに確認させている。



農 村 環 境 改 善 セ ン タ ー

人事案件に同意

人権擁護委員

- ・高志 慈海さん(弘川)
- ・加賀山 順子さん(大宝)
- ・武本 洋子さん(加納)
- ・吉岡 隆志さん(大ケ塚)
- ・立華 日出子さん(中)

農業委員の推薦を可決

任期満了に伴う農業委員の推薦(議会推薦)を可決しました。任期は平成29年7月19日です。

- ・矢野 晴央さん(大ケ塚)
- ・牧 泰孝さん(寺田)
- ・北野 隆さん(弘川)
- ・武田 文夫さん(中)

各議員の審議結果 (○=賛成 ●=反対 / =審議不参加 — =議長)

■平成26年第2回定例会

件名	審議結果	浅岡正広	佐々木希絵	浅岡幸晴	中川博	田中慶一	野村守	廣谷武	福田太郎	力武清	村元保男	杉本孝	小山彬夫
河南町・富田林市消防広域化(委託)に関する特別委員会の設置について	否決	●	●	—	●	●	●	●	○	●	●	●	●
専決第2号 平成25年度河南町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決第3号 河南町税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河南町附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河南町報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河南町法定外公共物管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河南町税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	●	●	—	○	○	○	●	○	●	○	○	○
河南町老人医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河南町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河南町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	—	○	○	○	○	●	○	○	○	○
河南町防災会議条例の一部を改正する等の条例の制定について	可決	○	○	—	○	○	○	○	●	○	○	○	○
河南町・富田林市消防事務の委託に関する協議について	可決	○	○	—	○	○	○	○	●	○	○	○	○
平成26年度河南町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	—	○	○	○	○	●	○	○	○	○
平成26年度河南町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度河南町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度河南町水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河南町・富田林市一般旅券の申請受理及び交付等に関する事務の委託に関する協議について	可決	○	○	—	○	○	○	○	●	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度河南町一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度河南町土地開発公社会計決算の報告について	報告	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長及び副町長の給料、手当及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	—	○	○	○	○	●	○	○	○	○
河南町教育委員会の教育長の給与、旅費並びに服務に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	—	○	○	○	○	●	○	○	○	○
河南町立中学校屋内運動場新築工事の工事請負変更契約について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河南町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	—	○	○	○	○	●	○	○	○	○
農業委員の推薦について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度と身体障害者手帳の認定基準緩和に関する意見書	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪・泉南アスベスト国家賠償請求訴訟の早期全面解決を求める意見書	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○



田中 慶一議員

問 小学校は3校方式がよい

答 統合は2校方式で変えず

問 河内、白木、中村小学校を河内に統合すれば

6教室不足、建設費は幾らかかるのか。河内は今

のまま、白木と中村を統合すると建設費も不要。児童数も倍になり効率

的で町としても近つ飛鳥

と合せて3校方式を取るべきではないか。住民の声を聞くべき。

答 河内小に集約すると2億円かかるが5校を2校にするのが適正規模と

循環バスについて

問 公共交通検討会議で

進めている方式は空気がバスとかガラガラバスで、経費も年間5000万円かか

答 町は法や要綱で指導

してきた。引き続き指導していく。ダンプについては道路交通法違反の取締強化や通行者の安全確保に務める。目的税の課税が可能か研究する。府条例案を注視し町の対応を検討する。

残土問題について

問 さくら坂近辺の住民

にとつて、砂塵、崩落や大型ダンプによる交通の危険性があり、町の対策はどうか。埋立業者に課税とか罰則など条例作りを検討すべき。

問 消防の広域化は時代の

流れであるが、富田林市への委託条件は、太子町、千早赤阪村の委託条件と同じなのか。

答 当初の必要経費と年間経費は幾らとなるのか。デメリットはないのか。安全安心のサービスは向上するの

答 委託条件は他町村と同一。当初経費は4000万円、財源は借金、年間経費は2億円程度。10

年間では従来より1億2000万円安くなる。デ

水道事業について

問 太子町、千早赤阪村

は大阪広域水道企業団への加入を表明している。河南町はどうか。安全安心面で大丈夫か。

答 大阪広域水道企業団への統合を目指し経営の安定を図るビジョンを策定する。





浅岡 正広議員

問 町長、七本の矢で大丈夫？

答 職員と一丸になって進める

問 近い未来、消滅可能性都市として、本町もラッキングされている。そこで、武田町長の掲げられた7本の矢に則り数点伺う。

まず、第一の矢『河南町の安全・安心』の中から本年10月1日を目途に進められている本町の常備消防を富田林市に事務委託する。いわゆる消防の広域化である。

はじめ、これまで議会に對しての数回に及ぶ理事者の説明などから、概ね住民への理解は得られたものと考えている。我が会派としても、問題なく予定通りの委託を願うものである。

先般、各地区で行われたタウンミーティングを

残すところである。**要望** ここまで大きな問題は無いとのことだが、消防は大切な住民の生命財産を守るための直轄部署である。加えて、本町にとつては、初めての試みでもあるため委託後も問題が生じた場合、早急に対応できる体制を維持するよう強く要望する。

未来に繋がる計画道路は？

問 第四の矢『河南町成長戦略』には、快適な生活基盤の充実として、インフラ整備、山城バイパスの早期実現とある。

この課題は、いつ頃どのような内容で取り組みが始まったのか伺う。

答 山城バイパス取り組みの経緯は昭和62年に寺田北交差点から大宝交差点までの供用開始に始まり、平成4年に本町と太子町で府に対してバイパスの延伸整備を要望している。



既存の山城バイパス構造物（トンネル）

これにより、府では平成7年から9年にかけて、大阪芸術大学の開発工事と合わせて芸大敷地内にボックスカルバート工（トンネル）165mを含む約300mを整備している。また、影響区間の用地買収や地図訂正も進められてきた。

しかし、平成20年度府の財政事情から事業の一時休止となり現在に至っている。

要望 私も、芸大敷地内

の利用されていない巨大なトンネル状の構造物を見て驚いている。芸大の多大な協力はもとより、道路開通に期待を込めて用地買収等に協力頂いた方も少なくないと考える。また、昨年度には、本町でも購入の目的に違いはあるとはいえ、バイパス延伸上の土地の確保もされている。以上のことから、山城バイパスの早期実現に向けた対応を要望する。



河南町 消防本部



佐々木 希絵議員

町イベントで手話通訳を

答 手話通訳派遣を検討する

問 町主催のイベントでは、基本的に参加者を全

ての住民を対象にしているにも関わらず、障がい者に対する配慮が欠落している。町政をしる貴重な機会であるタウンミー

ティングにすら、手話通

訳等の配慮がなかった。これでは、間接的に入場を制限する結果となっている。今後対策する予定はあるのか。

答 今後、聴覚障がい

を持つ方への配慮として、手話通訳者の派遣事業を利用し手話サークルの皆様にご協力頂く形で対応していく。

要望 手話通訳以外にも

介助が必要な障がいはある。それらにも対応していくように願います。

通学路に信号設置を

問 府道27号線から寺田

地区の関西電力の変電所に入る交差点は、大宝方面から中学校に通う生徒にとって、最も危険を感じる場所である。押ボタン式信号機設置を考へてほしい。

答 学校や庁内の各部署と協力して関係機関に要

望する。

要望 信号設置は時間

がかかるので、歩道の整備や標識設置などの啓発も同時進行進めてほしい。

保健センター浴場のエコ対策は

問 河南町はエコに大変

力を入れている自治体である。農村環境改善センターに予定されている浴場へのエコ対策は。

答 ソーラー温水器、ペ

レットボイラーを検討した。灯油ボイラーは約250万円設置できるのに対し、ペレットボイラーは付属設備とあわせると約1500万円必要となる。ランニングコストも、現時点では灯油より

冬期の体操服着用を

問 町立中学校では夏期

に限定して、体操服での登下校を許可しており、特に問題は見られない。学ランと比べるとセーラー服は気候に応じて調整する柔軟性が著しく劣る。冬期も体操服着用を許可

できないのか。

答 セーラー服の下にはトレーナーやセーター、スカートの下にはハーフパンツ等の着用も可としており、学校の指導方針に問題はない。学校側としては、要望があれば検討するとの答えである。

要望 自殺率が高いとい

われる、セフシャルマイノリティと呼ばれる方々が抱える負担の軽減にも役立つので、1年を通して体操服着用を認める措置を検討してもらいたい。





中川 博議員

問 自治体クラウドの導入は

答 システム更新を進める

問 行政の効率化、南海トラフ大地震に備えた行政データの保全等の課題を考え、自治体クラウド導入の考えは。

答 現在、電算システム数は14システムあり、費用は年間約7千万円である。今後、クラウドに向けた研究を行っていきたい。

問 平成25年6月の閣議決定で、自治体クラウドの取り組みを加速させることになっており、町は予算を組み、具体的な推

進をするのか。

答 円滑に移行費用を抑制する中間標準レイアウトに準拠したシステムへの更新を進めている。

問 本町のアウトソーシングの現状と先進事例の情報収集や研究は。

答 本町の民間委託は、総合保健福祉センター、石川保育園等があり、民間のノウハウが生かされ、施設の目的を十分に発揮している。今後、他市町村の先進事例等、研究し



ていきたい。

少子高齢化対策について

問 健康長寿のまちづくりのための対策と、胃がんの原因の98%がピロリ菌であるとの研究データがある、対策としての胃がんリスク検査の考えは。

答 介護予防事業を創意工夫し、健康マイレージ等は研究する。又、ピロリ菌除菌による胃がん発生を抑えるため、本町においても住民健診、医療機関検診でピロリ菌検査を実施する方向で検討したい。

問 日本創成会議の報告を踏まえ、具体的な人口減少の要因は、若年女性の減少と人口流出である。対策として、第3子以降の保育料の無料化の対応は。

答 人口増加の対応は、第3子以上の子どもを育てる世帯の増加とその養育費の負担軽減は重要で



あると考える。国の補助の仕組み等を考慮し、検討を進めたい。

要望 私が、初めて質問したのは、4年以上前からある。しかし今、日本創成会議の発表もあり、このタイミングで決断すること河内町は少子化対策に素早く対応したと評価される。ぜひ実施を要望する。

問 魅力あるまちづくりについて

佐賀県武雄市は、

「出来ない理由より出来る理由を」「100の議論より1の実行を」実践したその武雄市の図書館の取り組みは。

又、本町の交通問題に対するビジョンは。

答 先進事例を研究し、図書館運営の参考にしたい。又、大型ダンプ等の交通規制を実施、地域公共交通の実現をめざし魅力あるまちづくりを進めたい。



廣谷 武議員

問 防犯カメラの設置について

答 地区と協議し推し進める

問 各地区に助成金を出して防犯カメラの設置に向けてかなり努力いただいている中、河南町には何台の防犯カメラが設置されているのか。

答 地区が設置する防犯

カメラ、これを街頭防犯カメラと言っておりますが、大宝交差点に一箇所設置している。

問 去る5月19日、深夜の神山のコンビニに強盗が押し入り、店主に刃物

で重傷を負わせた上、約10万円を奪って逃走するという事件がおこった。

答 地区と協議し押し進める。地区外の設置には区長とか防犯委員会とかとも協議して検討する。

これだけの交通量がある、かなりのデータになりますので、警察に交渉して信号をつけるのも、取り締まりもかなり具体的なことが出来ると思うが。

答 個人のプライバシーにも配慮する必要がある。個人情報、基本的人権の保護については、交通事故の検証とか犯罪発生の確認など、法令に基づく請求があった場合とか、個人の生命、身体または財産の保護のため緊急かつやむを得ないと認められる場合に限り、防犯カメラに保存しているデータを使っていこうというふうに取り決めてしている。地区と協議し推し進める。



問 今、多くのダンプカーが往来し、ほこりや過積載、交通量増大、通路の安全、この様な問題も河南町が防犯カメラを設置していれば、カメラを解析して、朝何時から夜何時までダンプカーが何台走っている、学生の通学時間にこの道路では、

個人情報、基本的人権の保護については、交通事故の検証とか犯罪発生の確認など、法令に基づく請求があった場合とか、個人の生命、身体または財産の保護のため緊急かつやむを得ないと認められる場合に限り、防犯カメラに保存しているデータを使っていこうというふうに取り決めてしている。地区と協議し推し進める。





福田 太郎 議員

問 やまなみバスについて

答 町内循環バスという形で



問 現行のやまなみバス運行の早期見直しについて、地域公共交通検討会議の報告会の中で、やまなみバスを活用し、早期にコミュニティバスとして今後のスケジュール案の本格実施の平成28年度を1年前倒しし、役場庁舎を拠点に平成27年度から本格実施に向けて、現在のやまなみバスと同様に山間地も含んだ運行コースを走らせてもらえるのか。

答 運行形態等についても含め、どの様に進めて行くかを考えたい。

更なる子育て支援施策について

問 わが町や町外から河南町に移り住んでもらう若い世代の方のために、子どもを産み育てやすい町、河南町と言える思い切った町独自の方策として、乳幼児が保育園・幼稚園に入園した場合に負担額の免除措置と子ども

が18歳まで固定資産税50%減額という優遇支援事業を実施してはどうか。実施することにより、今後、河南町でも若い世代が増え、「活気・活力」のある河南町にのみがえるのではないか。

答 国・府の動向を注視して、負担軽減策を中心とした子育て支援を進めたいと考えている。

いじめと脱法ドラッグについて

問 児童・生徒たちが携帯電話やスマートフォンなどでマンガ、ゲーム遊び等を通じて、「ネットいじめ」が実際におこなわれている。この様なネットいじめ行為の撲滅に向けて、具体的なアンケート調査を小学校高学年や中学校の生徒たちに実施してはどうか。

答 三者懇談会などの機会、対話をもって行いたい。

問 違法脱法ドラッグが

※文章中の「脱法ドラッグ」は6月議会中での発言を優先しています。現在は「危険ドラッグ」に名称が変更されています。

大きな問題となっている。例えば、お香・ハーブ・バスソルト・アロマ等として合法的に違法脱法薬物を偽装し、化粧袋に入れてインターネット通販やアロマ専門店などで販売されており、誰もが簡単に手に入るようになっている。この様な状況で何の違和感もなく、興味本位や好奇心から脱法ドラッグを使用する中学生、高校生が増えているという調査結果が出ている。そこで、教育の観点から中学校側に対して、生徒たちへ違法脱法ドラッグの乱用と恐ろしさを教えるために、保護者も加えて、1年生・2年生・3年生を分けて「ぶくぶくドーム」で違法脱法ドラッグの乱用についての受講教室を開いてはどうか。

※詳細な事項は議会記事にて閲覧していただきますように。



力武 清 議員

問

残土埋立て崩落の危険は

答

崩落の高い現場はない

問 本町では、現在11カ所の残土持ち込み、埋立て箇所がある。豊能町の事故後、本町の現場へ確認に入ったのか。

答 再度、目視で確認し、一部必要以上に土砂を積

み上げた所、構造物の一部にクラックが生じている現場等があった。

問 危険箇所に対する対応はどうしたのか。

答 計画以上に積み上げていた現場は、土砂搬入

の即時停止と埋立て区域周辺への土砂等の流出防止策を講じるよう指導し対処した。構造物にクラックが入った箇所は、原因の調査と対応を指導している。

問 大阪府の動向は。

答 府民の安全・安心確保を再優先に、府全体の土砂の不適正な埋立てを規制するため、9月議会で条例提案する方向。

国民健康保険に関する

問 保険者証の通年、1年発行者数の数は。

答 国保に継続加入している世帯は1,902で約8割の方が継続している。8割の方が継続され

介護保険に関して

問 国の制度変更に伴って要支援1、2の訪問介護、通所介護、デイサービス

の削減が行われている。本町としての受け皿は可能か。

答 新しい介護予防事業

ているならば、事務作業の煩雑さ、発行事務の経費削減を考え3年ないし5年に延長しては。

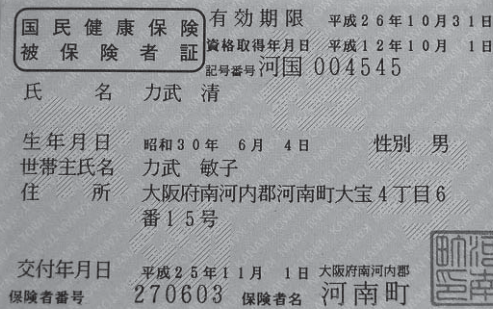
問 他の健康保険に比べ加入、脱退の件数が多く無届けの場合もあり、更新時に現在の加入状況の確認や保険料滞納している方と接する機会を増やし、収納を確保する目的で1年更新としている。

は、平成29年度末まで経過措置があり、円滑な移行に向け鋭意取り組む。

問 新しい制度では、ボランティア、NPOを活用するなど非専門職のサービスを可能としているが本町での実施の見通しは。

答 小規模な自治体では課題も多く十分なマンパワーが可能なか、検証も必要になる。

公共施設の共同利用



問 公民館や福祉施設の相互利用の促進を図るべき。

答 公民館は法律で一定区域内の住民のため、各市町村の住民の利用に限るほうが望ましいのとこのでやっていない。

近大病院移転に関して

問 救急搬送、小児救急などへの影響は。

答 移転先が泉ヶ丘周辺で、地理的、距離的に近くなり影響はない。



これが聞きたいのねん

一般質問(個人)



小山 彬夫議員

問 大宝幹線道路の整備は

答 舗装修繕計画に基づき行う

問 今年度の修繕計画の区間は。

答 今年度は、飛鳥風土記の丘の前の続きの区間と町道1号線との交差点付近（旧みどりや付近）の舗装の打替えを予定している。他の区間については平成27年度に整備予定である。

問 幹線道路の中央部には太い雨水管が通っている。バスや大型車がマンホールの上を通過する時、身体に感じる強い振動音

が生じるので、調査を願いたい。

答 振動については舗装打ち替えの際、調査し調整をしていく。

問 今年の2月28日から大宝地区全域がゾーン30に指定された。改めて安全運転の意識を高めるため、舗装打ち替え時に中央部交差点前にゾーン30の道路標識箇所を増やして欲しい。

答 町長の肝入施策につき、富田林警察署と協議



し、了承が得られたら舗装の打ち替えに合わせ、ゾーン30の表示は可能と考える。

問 震災後、梅川に架る大宝橋の耐震基準は大丈夫かと尋ねられる。震度6以上の強い地震に耐えられるのか伺いたい。

答 耐震基準については想定を超える地震が生じても橋が落下することがないように耐震補強工事を施している。

大宝商店街の段差解消は

問 商店街の歩道と車道の段差については以前より問題視されている。傾斜もあり滑りやすく高齢者の方、身体の不自由な方や健常者の方にとっても非常に危険で歩きづら

い。段差解消が必要ではない。

答 段差解消については、道路勾配等の詳細設計が必要となり舗装修繕計画とは別に測量設計を実施する必要がある。測量設

幹線道路の「ハナミズキ」の維持管理について

問 一面サイドには約200本のハナミズキが植樹されている。大宝地区のシンボルの木として大切にされている。夏場になると枯れたり傷んだりするが夏場の管理は。また、

計費を補助金要望したが、今年度は国の内示が少なく出来なかった。今後もし引き続き国に要望し、財源を確保し、歩道の段差解消を進めていきたい。

答 大宝2丁目に新たに住宅開発が進んでいる。緑化率を高め良好な戸建住宅の環境を維持するため、歩道にハナミズキの植樹をお願いしたい。

答 夏場の管理については灌水を増やし適正な管理に務め、枯れるなど欠落した場合は補植していく。新たな住宅開発周辺道路へのハナミズキの植樹については検討していく。



河南町議会はより開かれた議会をめざし、 政務活動費を議会だよりで改めて公表いたします。

政務活動費とは

政務活動費は、地方自治法に基づき議員の調査研究に資するため必要経費の一部として交付されます。

平成 24 年の地方自治法の一部改正により、会派に交付する「政務調査費」の名称が「政務活動費」に改められました。

政務活動費は、議会における会派（所属する議員が 1 人の場合を含む）に対して交付するものです。

政務活動費の額は、会派に所属する議員数に応じて、1 人につき **月額 15,000 円** が交付されています。

ここでは、各会派から提出された収支報告書をもとに執行状況を公表いたします。

区 分	内 容
調査研究費	会派（所属議員を含む。以下同じ。）が行う町の事務、地方行財政等に関する調査研究（視察を含む。）及び調査委託に要する経費
研 修 費	1 会派が行う研修会、講演会等実施（共同開催含む。）に要する経費 2 団体等が開催する研修会（視察含む。）、講演会等への所属議員の参加に要する経費
広報・広聴費	会派が行う活動の広報・広聴活動に要する経費
要請陳情等活動費	会派が行う要請陳情活動、住民相談等の活動に要する経費
会 議 費	1 会派が行う各種会議、住民相談会等に要する経費 2 団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費
資料作成費	会派が行う活動に必要な資料を作成するための経費
資料購入費	会派が行う活動のために必要な図書、資料等の購入、利用等に要する経費
事 務 費	会派が行う活動に係る事務の遂行に要する経費

平成 25 年度 政務活動費一覧表

(単位：円)

会派名	収入の部	支出の部									残余額 (A - B)
	政 務 活動費 (A)	調査 研究費	研修費	広報・ 広聴費	要請陳 情等活 動費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	事務費	合計額 (B)	
かなんクラブ 6人 (5*12+1*4)	960,000	0	478,500	218,687	0	63,000	0	0	211,716	971,903	-11,903
リベラルの会 3人 (3*4ヶ月)	180,000	0	71,733	54,030	0	17,980	0	11,433	36,980	192,156	-12,156
公明党 1人 (1*12ヶ月)	180,000	70,225	0	17,280	0	5,950	18,108	99,993	8,751	220,307	-40,307
民主リベラル 1人 (1*12ヶ月)	180,000	5,900	0	15,510	0	0	0	0	219,344	240,754	-60,754
日本共産党 1人 (1*12ヶ月)	180,000	0	70,225	194,600	0	0	0	130,770	0	395,595	-215,595
新風改革クラブ 1人 (1*8ヶ月)	120,000	96,903	0	0	0	3,655	0	0	20,658	121,216	-1,216
かなん維新 1人 (1*8ヶ月)	120,000	52,800	0	0	0	0	0	0	67,800	120,600	-600
かなん未来 1人 (1*8ヶ月)	120,000	0	0	0	0	0	0	31,400	96,960	128,360	-8,360
命をまもる会 1人 (1*8ヶ月)	120,000	133,948	0	29,950	0	0	0	21,380	258	185,536	-65,536
合 計	2,160,000	359,776	620,458	530,057	0	90,585	18,108	294,976	662,467	2,576,427	-416,427

注) 平成 26 年 11 月に会派の異動があり、かなん未来がかなんクラブに合流、新風改革クラブ・かなん維新・命をまもる会が合併しリベラルの会になりました。

河南町議会議員が出席する河南町主催の会議にかかる費用弁償は平成 23 年 7 月 1 日に廃止されています。

シリーズ



⑳

—その道の達人から学ぶ—

心に響く 太鼓の音

松本 優夏さん (さくら坂)



今回は、日本の伝統芸能「和太鼓」奏者の講師を指している松本優夏さんを紹介します。

松本さんが和太鼓に出会ったのは、中学3年生のとき、中学校の体育祭で生徒会役員の演目で和太鼓を叩き、その音の響きに魅了されたそうです。

その後、和太鼓のクラブ活動している河南高校に進み、高校3年間で和太鼓一筋の生活を送られました。

現在は、カルチャースクールでスタッフとして、接客や事務をこなしながら、仕事前の自主練習や週3回のレッスンを受け、また、体力づくりとして、体幹トレーニングを取り入れ、和太鼓を叩く姿勢を整えるなど、体調、気分によって、太鼓の響きが違い、太鼓のもつ奥の深さを日々探求され、和太鼓奏者としての腕を磨かれています。

和太鼓の演奏とは、音を続けることが大事で、ま

た、大きい音でも心地よい音が出せるようにすることです。



また、和太鼓の演奏は各地で叩き方や音の出し方が違い、その地方の風土、歴史が織りなすリズムと歴史上の史実を元にしたストーリーが音の強弱を与え喜怒哀楽を表していたりと、これは各地に直接赴き和太鼓を聞き、その場で指導を付けてもらったりして、勉強しなくては分からないと話されていました。

本年、河南町の秋祭りには、石川地区の一須賀神社で宵宮の日に和太鼓を演奏する、松本さんの勇姿を見ることが出来ます。

町長に 提言を提出

交通問題対策特別委員会では、度重なる調査研究等を行った結果、本町での地域公共交通において、オンデマンドは循環バスに比べ乗車ロスが少なく、きめ細やかに住民のニーズに応え、本町の地理的条件にも十分適している。また、高齢者対策でもある見守り事業や緊急時の安全対策にも役立つことから、委員会からの提言を浅岡幸晴議長が河南町長へ提出しました。



5月15日

3会派 合同研修

かなんクラブと公明党、日本共産党の議員7人は、三重県松阪市、玉城町を視察しました。

両市町においての地域公共交通の研修を受け、参加議員は熱心な質問などを行い、相互の親交を深めました。



さくら坂南地区からの陳情を受けて

7月10日に河南町議会議員全員協議会において、浅岡幸晴議長から町長及び町理事者に対し、さくら坂南地区から6月18日に提出のあった『河南町土砂等による土地の埋立等に関する指導要綱』による指導の徹底および牧場移設反対に関する陳情書』について町として指導の徹底を行うよう要請しました。

定例会の日程

平成26年第3回定例会を、次の日程(予定)で開催します。

町政を身近に知れるよい機会ですので、ぜひ傍聴にお越しく下さい。

9月9日 開 会
9月24日 一般質問
9月25日 閉 会
※日程は変更になる場合があります。(確認は議会事務局まで)